

耐震構法 SE構法

Ver. 2 取扱説明書 《タルキビス施工編》



【東京本社】
〒108-0075
東京都港区港南1-7-18
Tel 03-6872-5601 Fax 03-6872-5611

【大阪支店】
〒530-0002
大阪市北区曽根崎新地1-1-49 梅田滋賀ビル8F
Tel 06-6344-0588 Fax 06-6344-0733

1 垂木サイズとタルキビスの種類

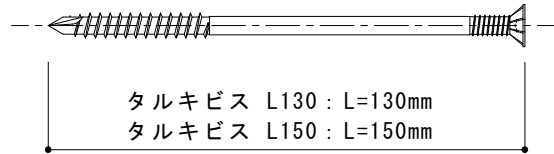
タルキビスは、一般に市販されておらずSE構法専用開発されたものです。
プレカット部材と一緒に現場へ納品されます。
タルキビス以外の類似商品を使用した場合、NCNの保証対象外となります。 ※注意※
下表のサイズと仕様ビスサイズをご確認の上、納入されたものが違う場合
にはNCNまでご連絡ください。

垂木サイズ	名 称	垂木の樹種
45×60mm	タルキビス L130	ベイツガ、ペイマツ スギ、スプルー (乾燥材を使用すること)
45×90mm	タルキビス L150	



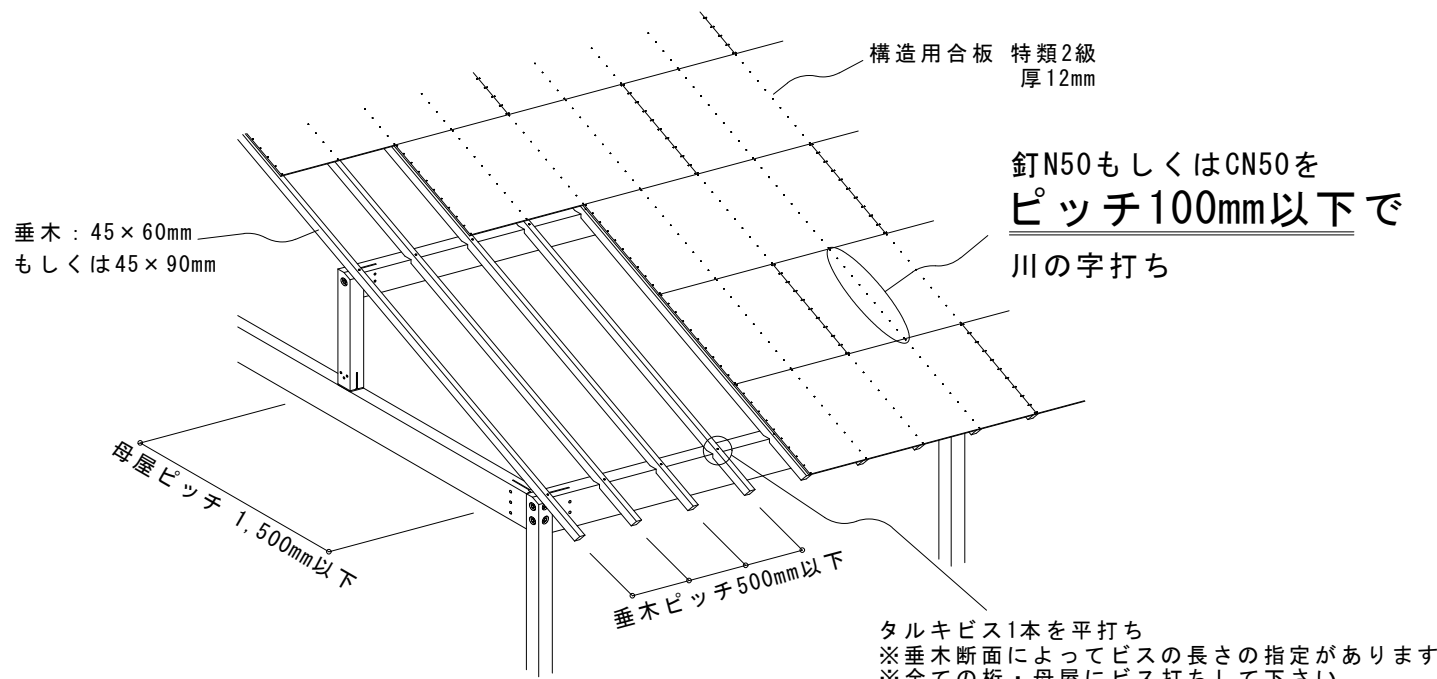
⚠️ タルキビスは野地合板を張ると、
施工の確認ができません。
野地合板施工前に必ず写真撮影
をして下さい。
検査報告書が必要となります。

タルキビス



2 タルキビス仕様

構造計算書と一緒に床・屋根水平構面仕様図が添付されていますので指定された仕様に従ってください。
仕様の通りに施工されていない場合、性能を保証できませんのでご注意ください。
構造用合板は釘N50もしくはCN50でピッチ100mm以下で川の字打ちしてください。

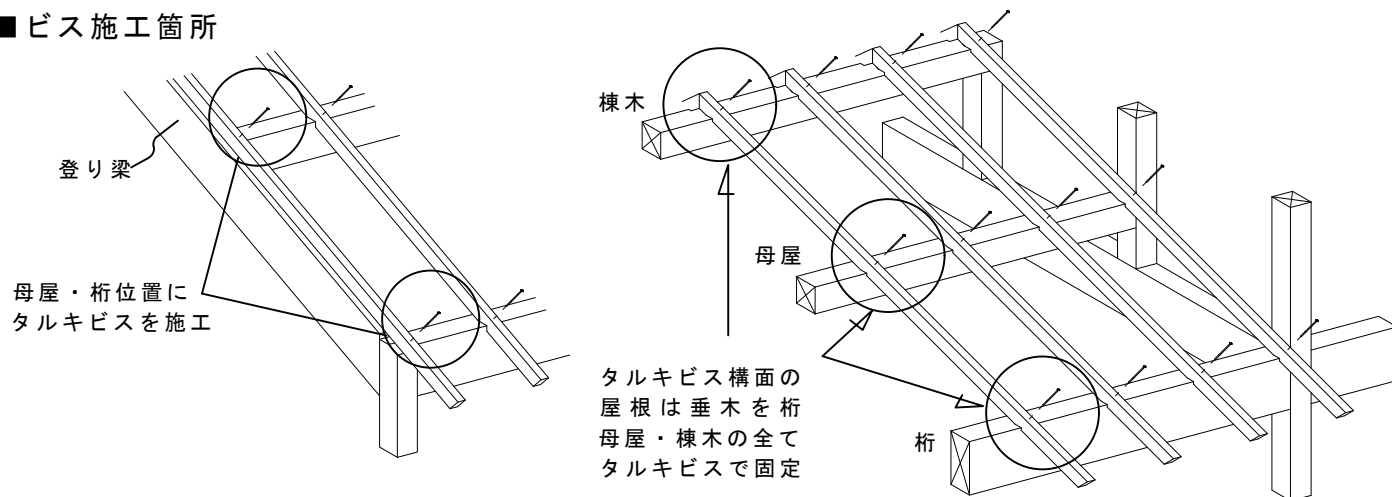


※タルキビス仕様の野地板は構造用合板12mm・釘ピッチ100mm以下です。

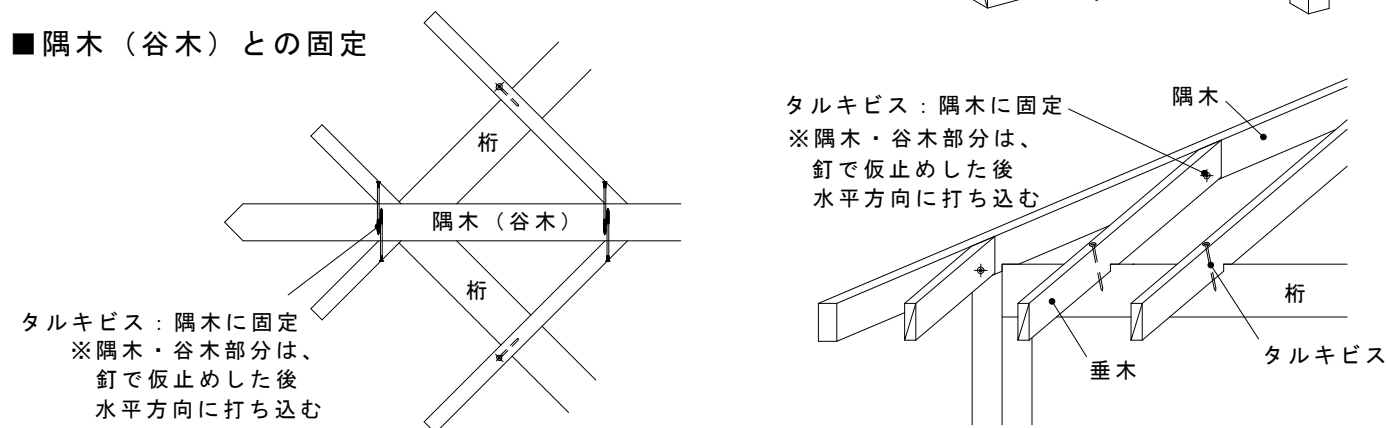
※伏図に指定が無い限り、ひねり金物等の吹上げ用金物の施工は必要ありません。

3 各納まりについて

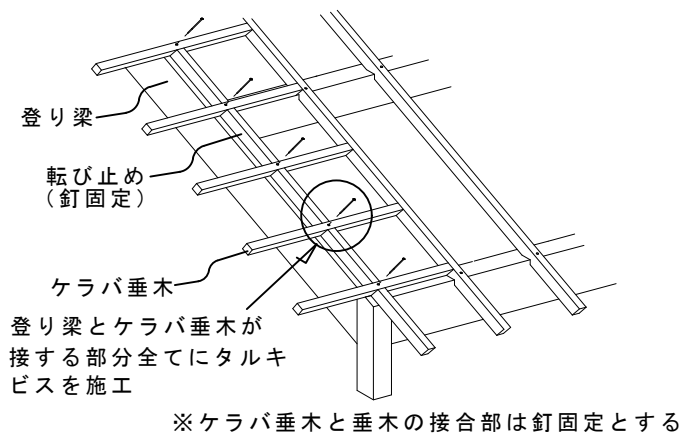
■ビス施工箇所



■隅木（谷木）との固定

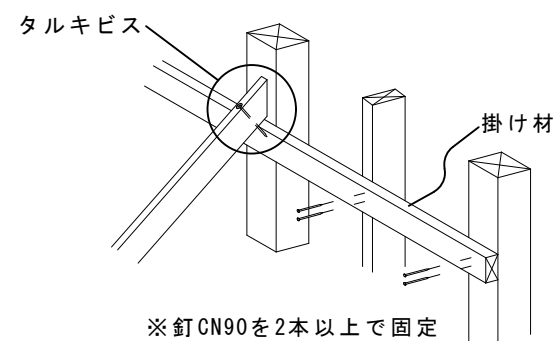


■登り梁とケラバ垂木の固定



■掛け材の固定方法（下屋の納まり）

掛け材サイズは、45×105以上とする。



4 注意事項

- ・タルキビスは、下穴をあけた方が施工性が良くなります。
- ・下穴の大きさはφ4程度とし、垂木成の半分程度の深さまでとして下さい。
- ・タルキビスは、角ビット（#3）を使用し、打ち込みはコード式のインパクトドライバーをお勧めします。
- ・外断熱で、2重垂木となる場合は、下垂木の上に野地合板を施工します。

